

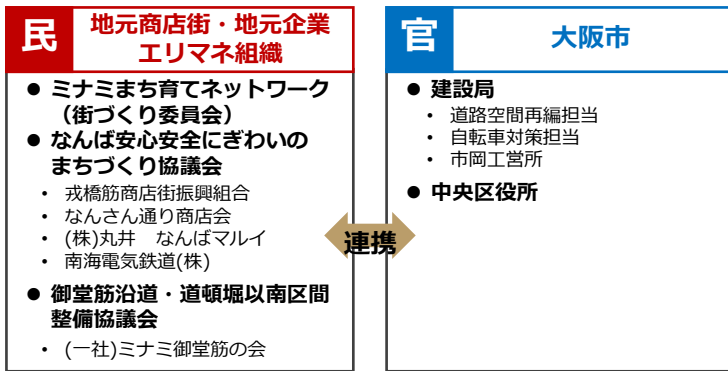
# 放置自転車対策ワーキンググループ取り組み報告

## ◆ミナミの放置自転車対策の歩み（2000年～）

- ① 2000年頃、ミナミの環境と治安が悪化。ある商店街では通行者数が往時の6割に。
- ② 地域ぐるみで環境浄化を開始、地域と行政、財界とミナミ活性化協議会を設置。次の3点を官民で推進し改善。～駐輪場整備、放置禁止区域指定(大阪市と地域で自転車まちづくり地域協定の締結)、啓発・撤去活動を推進～
- ③ 新型コロナウイルス禍収束後、あらためてミナミのまちで放置自転車が増加。

これからは歩行者が安全、快適に回遊できるミナミのまちづくりが活性化に不可欠。2025年大阪・関西万博を見据え、抜本改善を図るべく**2023年4月に官民で自転車対策ワーキングをスタート**。

【WG体制】



【WGの様子】



## ◆現在の自転車対策ワーキングの取組方針と実施内容

『撤去』『調査・分析』『啓発』を自転車対策ワーキングの「3本柱」として推進

**発生要因を把握した上で対策を試み、その効果を検証し施策につなげていく**



**撤去の効果的な運用**

- ・ リアルタイム撤去の試行 (11月13日から道頓堀以南のミナミで約300台/月の撤去)
- ・ 集中(連日)撤去の試行
- ・ 最新の取組事例ヒアリング

**放置自転車の実態調査**

- ・ 発生要因を細かく把握 (どこから、何のため、なぜ放置?)
- ・ モデル調査、全数調査 (撤去や啓発の事前事後)

**市民・商店の協力と啓発**

- ・ 駐輪場利用の促進
- ・ 附置義務の遵守
- ・ 調査結果の公表

**効果や発生の要因を分析**

**さらなる効果的な方策**

**新しい仕組みの検討**

**啓発活動の新しい展開**

# 放置自転車の実態調査

## ◆ 調査スケジュール

23年9月	10月	11月	12月	24年1月
		リアルタイム撤去	集中撤去	

**調査1：モデル（特性）調査  
放置自転車インタビュー調査**

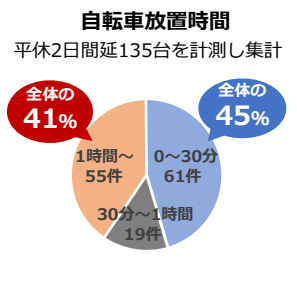
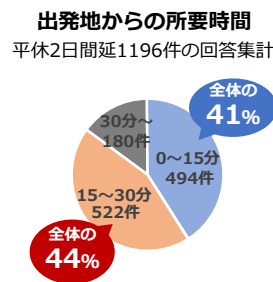
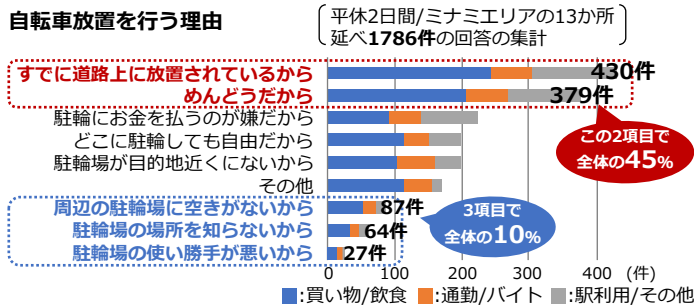
**調査2：撤去開始前  
放置自転車全数調査(その1)**

**調査3：撤去開始後  
放置自転車全数調査(その2)**

## ◆ 調査結果

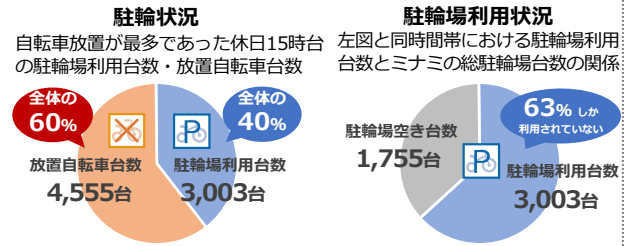
### 調査1：放置自転車インタビュー調査結果（自転車放置を行う約1,700名に実施）

- ・ 自転車放置の理由についての調査では、「すでに道路上に放置されている」という回答が最も多く、「駐輪場の空きがない」、「場所を知らない」といった回答はわずかであった。
- ・ 出発地点からの所要時間は15分以内が41%、30分以内が85%を占める。
- ・ また、自転車放置者の45%の放置時間が30分以内となっている。



### 調査2：リアルタイム撤去開始前の放置自転車全数調査（詳細な調査結果は参考資料③に掲載）

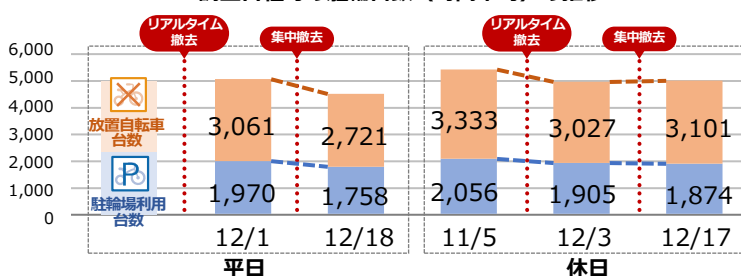
- ・ 放置台数が最多であった休日15時台では、**なんば（調査エリア）に自転車で来る人の60%が路上に放置をしている**という結果に。
- ・ 同時間帯で、駐車場の37%に空きがあり、放置自転車台数が多いエリアの周辺にも、**相当な台数の利用可能な駐輪場がある。**



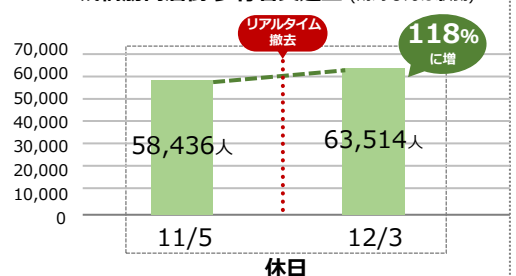
### 調査3：リアルタイム撤去後の全数調査

- ・ 調査エリア全放置自転車台数(時間平均)は最大で**11%減少**。(平日：12/1→12/18【▼340台】)
- ・ 時間毎に比較すると、最大で**38%減少**している時間帯も。(休日9時台：11/5→12/17【▼982台】)
- ⇒ **リアルタイム撤去及び周知(報道)の効果もあり、放置自転車台数の減少は1か月以上持続。**
- ・ **撤去未実施の日曜であっても同様に放置自転車は減少しており、来街者の行動変容が見られる。**
- ・ 一部エリアでは、撤去後すぐに間髪入れず自転車放置される状況が見られる。
- ・ 駐輪場利用台数も減少傾向ではあるが、商店街の歩行者数は増加している。

調査日程毎の駐輪台数（時間平均）の推移



戎橋筋商店街 歩行者交通量（南海なんば駅側）



※一部時間帯では営業時間外のため観測不能な駐輪場があった

◆今後の自転車WGの取り組みについて

自転車対策WGの3本柱		
撤去の効果的な運用	放置自転車の調査・分析	市民・商店の協力と啓発

2023年  
12月

施策と対応した調査により効果検証

<p><b>施策</b></p> <p>①道頓堀以南のミナミで約300台/月の撤去</p> <p>②作業効率は大幅にアップ</p> <p>③市民からの苦情はなし</p>	<p><b>効果検証</b></p> <p>① 放置台数は最大<b>38%減少</b></p> <p>② 撤去の無い曜日でも減少（商店街の通行量は増加）</p> <p>③ 夕方以降は増加傾向</p>	<p><b>施策</b></p> <p>① 駐輪場マップの配布（1.1万枚を印刷）</p> <p>② 調査結果・リアルタイム撤去の取組を9社が報道</p>
<p><b>課題</b></p> <p>放置自転車台数が撤去可能な台数を大幅に上回り、撤去のみでの解決は困難。</p>	<p><b>課題</b></p> <p>駐輪場利用者は増加せず⇔歩行者数や鉄道利用は増加しており、徒歩への行動変容が見られる</p>	<p><b>課題</b></p> <p>放置を止めて駐車場利用に代える、という効果は薄かった。（自転車利用抑制効果は有）</p>



今後の取り組み

令和6年度中に具体化し、令和7年度(万博年)に実行

持続可能な繁華街ミナミ ~ウォーカブルエリア宣言へ~

■ 検証の総括

- リアルタイム撤去・集中撤去の取組によって、駐車場利用を促さず、むしろ市民の「自転車から徒歩へ」の行動変容の兆しが見られた。
- 現在の来街者の交通手段は、徒歩・鉄道が70%程度に対して自転車は10%程度。  
(※参考：令和3年度 第6回近畿圏パーソントリップ調査)
- ミナミはなんば広場や商店街等、「自転車押し歩き」が必要な道路がほとんどである。

■ 今後の方向性

- 持続可能な国際観光エリアとして、「歩いて楽しい、ウォーカブルな」街づくり、「安全・快適」の確保が必須。そのためには、「ミナミには歩いてきてもらう」ことを大前提としつつ、自転車を利用する必要がある来街者には駐輪場を適切に利用してもらうことを目指す。

■ 具体的な取組

- 自転車対策WGの3本柱をさらに発展

<p><b>さらなる効果的な方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撤去輸送台数を増強</li> <li>撤去実施時間の拡充</li> <li>思い切った改善策の検討</li> </ul>	<p><b>新しい仕組みの検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場の効率的運営検討</li> <li>撤去～保管の仕組み検討</li> <li>押し自転車促進の検討</li> </ul>	<p><b>啓発活動の新しい展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業関係者啓発の手立て</li> <li>行動変容にむけたPR</li> <li>お悩みの地域どうし連携</li> </ul>
--	--	---

※参考①：難波周辺エリアにおける代表交通手段別集中量の比較

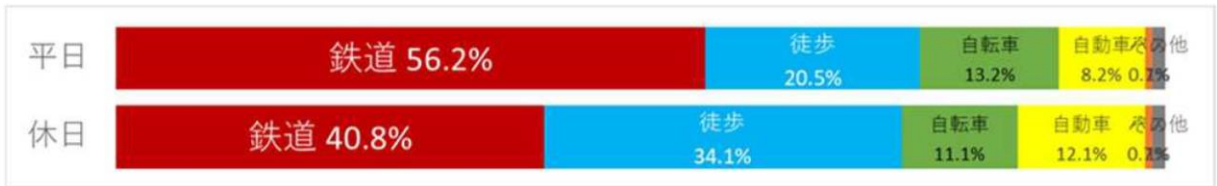
難波周辺エリアにおける代表交通手段別集中量

H2 2



参考：第5回近畿圏パーソントリップ調査（平成22年度）

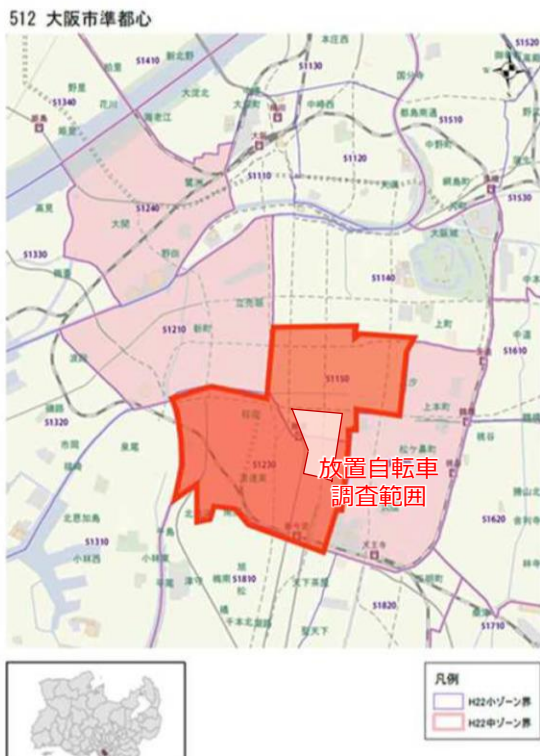
R3



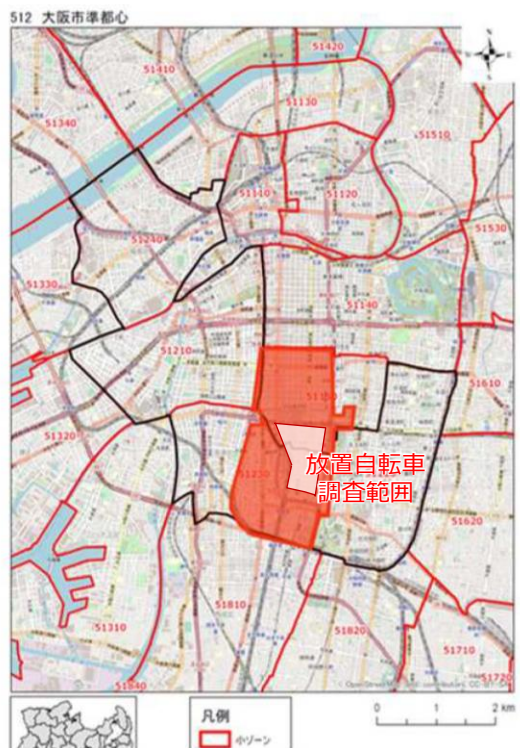
参考：第6回近畿圏パーソントリップ調査（令和3年度）

集中量の集計範囲

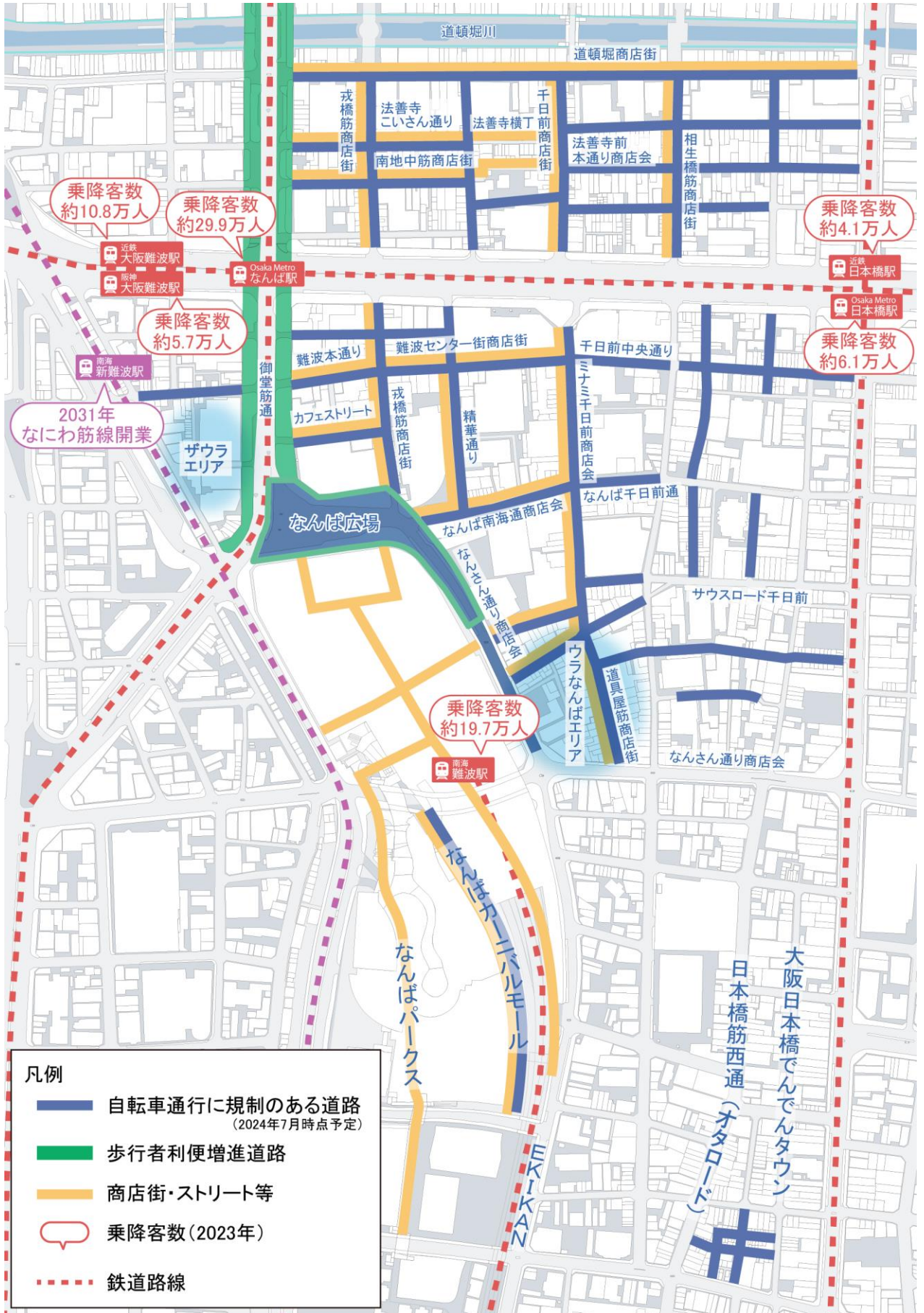
H2 2



R3



## ※参考②：難波周辺エリアマップ



# ※参考③：放置自転車全数調査詳細

調査日：2023年11月5日（日）15時台（放置自転車台数ピーク時） 天気：晴 ※阪神優勝日

